

岡崎市子ども・子育てに関するアンケート調査(案)

【調査ご協力のお願い】

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。

さて、本市では、より一層の子育て支援施策の充実に向け、「岡崎市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

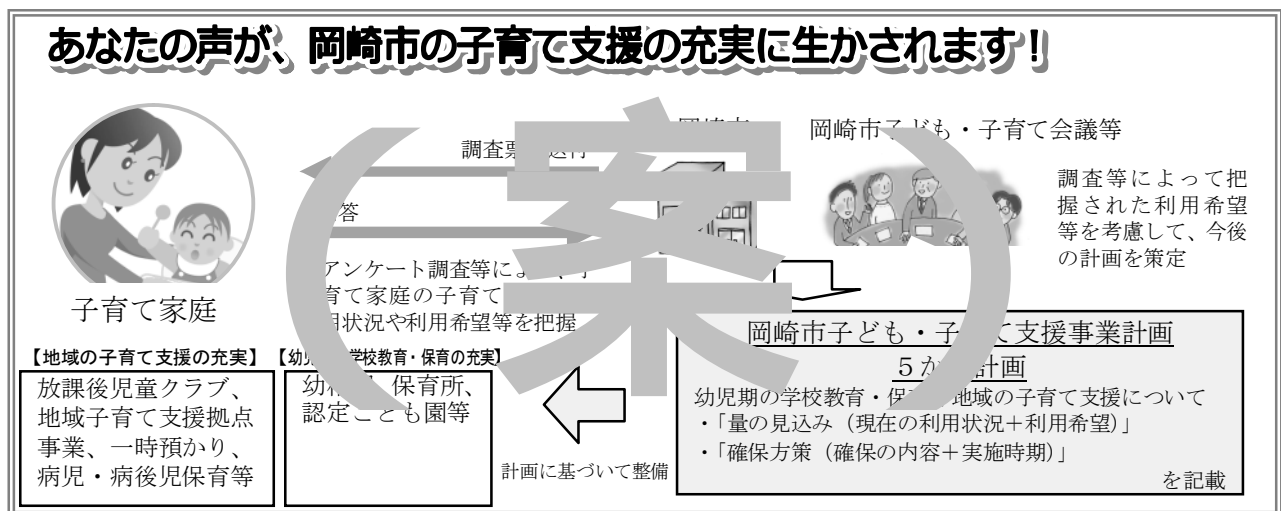
このため、市民の皆様の子育て状況や、子ども・子育てに関するご要望・ご意見等を把握するべく、「岡崎市子ども・子育てに関するアンケート調査」を実施することとなりました。

この調査は、本市にお住まいの、就学前のお子さんをお持ちの保護者の方にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた内容は、本市の子ども・子育て施策の検討に利用させていただきます。回答者個人が特定されたり、他の目的に利用することは一切ございません。

ご多用のことと存じますが、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年11月

岡崎市長 内田 康宏



記入にあたって

- 特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
- アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて●月●日(●)までにポストに投函してくださるようお願いいたします。

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

岡崎市こども部こども育成課

電話：0564-23-6820 FAX：0564-23-6833

電話によるお問い合わせは、平日午前8時30分から午後5時15分の間をお願いいたします。

回答するに当たってお読みください

岡崎市では、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づく新たな子ども・子育て支援の制度(以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。)の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとしています(平成27年度から実施予定)。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との「関わること」による基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性を存在として認められ、ともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援は、社会全体の責務として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者は子育てに当たっての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

【用語の定義】 この調査票における用語の定義は、以下のとおりです。

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
教育	問13までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問14以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

1. お住まいの地域についてうかがいます

問1

お住まいの地域の小学校区はどちらになりますか。答えの番号1つに○をつけてください。

- | | | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|-----------|---------|
| 1. 小豆坂 | 2. 愛宕 | 3. 井田 | 4. 岩津 | 5. 上地 | 6. 梅園 |
| 7. 恵田 | 8. 生平 | 9. 岡崎 | 10. 奥殿 | 11. 男川 | 12. 形埜 |
| 13. 北野 | 14. 下山 | 15. 城南 | 16. 大樹寺 | 17. 大門 | 18. 竜美丘 |
| 19. 常磐 | 20. 常磐東 | 21. 常磐南 | 22. 豊富 | 23. 夏山 | 24. 根石 |
| 25. 秦梨 | 26. 羽根 | 27. 広幡 | 28. 福岡 | 29. 藤川 | 30. 細川 |
| 31. 美合 | 32. 三島 | 33. 緑丘 | 34. 宮崎 | 35. 六名 | |
| 36. 六ツ美西部 | | 37. 六ツ美中部 | | 38. 六ツ美南部 | |
| 39. 六ツ美北部 | | 40. 本宿 | 41. 矢作北 | 42. 矢作西 | 43. 矢作東 |
| 44. 矢作南 | 45. 山中 | 46. 竜谷 | 47. 連尺 | | |

わからない場合は、お住まいの町名をご記入ください。

町・丁目

問2

岡崎市に住んで何年になりますか。答えの番号1つに○をつけてください。
※旧額田町を含む

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～2年未満 | 3. 3～5年未満 |
| 4. 5～10年未満 | 5. 10～20年未満 | 6. 20年以上 |

2. 封筒の宛名のお子さんとお住まいの地域に合わせて環境についてうかがいます

問3

宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。
(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

平成 年 月 生まれ

問4

宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。

きょうだい数 人

問5

この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問6

この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
 ※フルタイムについては、1週5日程度・1日8時間程度の就労を目安に判断ください。

問11(1) 母親 【父子家庭の場合は記入不要です⇒問11(2)へ】
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒問11(1)-1へ

⇒問11(2)へ

問11(1)-1 問11(1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

1週当たり 日 日当たり 時間

問11(2) 父親 【母子家庭の場合は記入不要です⇒問12へ】
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒問11(2)-1へ

⇒問12へ

問11(2)-1 問11(2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

問12 **問11（1）または問11（2）で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。**
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※フルタイムについては、1週5日程度・1日8時間程度の就労を目安に判断ください。

①母親	②父親	フルタイムへの転換希望（当てはまる番号1つに○）
1	1	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4	4	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問13 **問11の（1）または（2）で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。**
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）母親

1. 子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
 →1週当たり 日 / 1日当たり 時間

（2）父親

1. 子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
 →1週当たり 日 / 1日当たり 時間

問15 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（現在、岡崎市では実施していない事業も含んでいます。）

- 1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)
- 2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
- 3. 認可保育所 (都道府県等の認可を受けたもの)
- 4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
- 5. 小規模な保育施設 (市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)
- 6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
- 7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
- 8. その他の認可外の保育施設
- 9. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
- 10. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
- 11. その他 ()

6. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況 についてうかがいます

問16 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子がくままって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）、「つどいの広場（地域交流センター、げんき館等プレイルーム）」「子育て支援センター」と呼ばれています）を利用していますか。
 次の中から、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

- 1. 地域子育て支援拠点事業を利用している
 1週当たり 回 もしくは 1か月当たり 回程度
- 2. 利用していない

問17 問16のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。
 当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

- 1. 利用していないが、今後利用したい
 1週当たり 回 もしくは 1か月当たり 回程度
- 2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 1週当たり 更に 回 もしくは 1か月当たり 更に 回程度
- 3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問18

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設等の事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日 ※午前9時から午後4時までの人は、利用したい時間帯09時から16時までと記載してください

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
- 時から 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
- 時から 時まで

問19

「幼稚園」を利用されてきたお子さんについて、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中の保育・教育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
- 時から 時まで

8. 宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問20

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問14で1に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問21にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒問20-1へ 2. なかった ⇒問21へ

問20-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）

1年間の対処方法	日数	
ア. 父親が休んだ		日
イ. 母親が休んだ		日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった		日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた		日
オ. 病児・病後児の保育を利用した		日
カ. ベビーシッターを利用した		日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した		日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた		日
ケ. その他 ()		日

問20-1で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問20-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号を口内に記入し、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等を利用するには、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい 日
2. 利用したいとは思わない 日

9. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

問21 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

利用している事業・日数（年間）		
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所等で一時的に子どもを保育する事業)		日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預る事業のうち不定期的に利用する場合のみ)		日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)		日
4. その他 ()		日
5. 利用していない		日

問22

宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計		日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）リフレッシュ目的			日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等			日
ウ. 不定期の就労			日
エ. その他（ ）			日
2. 利用する必要はない			日

問23

この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

	1年間の対処方法	日数	
1. あった	ア. （同居者（含む）家族・知人にみてもらった		泊
	イ. 短期入所生活介護（事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で「定期」子どもを保護する事業）		泊
	ウ. イ以外の児童養護施設、ベビーシッター等）を利用した		泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた		泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた		泊
	カ. その他（ ）		泊
2. なかった			

10. 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

問24	宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。
-----	---

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育等と呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合等に、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	週	日くらい
4. 学区こどもの家	週	日くらい
5. 放課後子ども教室※1	週	日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週	日くらい
	⇒ 下校時から	時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	日くらい
8. その他（公民館、公園等）	週	日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力により、学校で学習・スポーツ・文化芸術活動等を体験する取組です。

問25	宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。 ※現在お持ちのイメージでお答えください。
-----	---

1. 自宅	週	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	週	日くらい
4. 学区こどもの家	週	日くらい
5. 放課後子ども教室	週	日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週	日くらい
	⇒ 下校時から	時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	日くらい
8. その他（公民館、公園等）	週	日くらい

問26

問24または問25で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日 ※午前9時から午後6時までの人は、利用したい時間帯09時から18時までと記載してください

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない
- ⇒ 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない
- ⇒ 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで

問27

宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない
- ⇒ 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで

11. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度についてうかがいます

問28	宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。①母親、②父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。
------------	--

①母親	②父親	育児休業の取得状況（当てはまる番号1つに○）
1	1	働いていなかった ⇒問29へ
2	2	取得した（取得中である） ⇒問28-1へ
3	3	取得していない

「3. 取得していない」と回答した方にうかがいます。

①母親	②父親	取得していない理由（当てはまる番号すべてに○）
1	1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2	2	仕事が忙しかった
3		（産休後に）仕事に早く復帰したかった
4	4	仕事に戻るのが難しそうだった
5	5	昇給・昇格等が遅れそうだった
6	6	収入減となり、経済的に苦しくなる
7	7	保育所等に預ける必要があった
8	8	配偶者が育児休業制度を利用した
9	9	配偶者が無職、祖父祖母の世帯に預けられる等、制度を利用する必要がなかった
10	10	子育てや家事に専念するため退職した
11	11	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12	12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13	13	育児休業を取得できることを知らなかった
14		産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15		その他（ ）
	15	その他（ ）

問28で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒該当しない方は問29へ

問28-1	育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
--------------	---

※該当する方の親のみとし、ともに該当する場合はそれぞれについて記載してください

①母親	②父親	育児休業取得後の職場復帰状況（当てはまる番号1つに○）
1	1	育児休業取得後、職場に復帰した ⇒問28-2へ
2	2	現在も育児休業中である ⇒問28-5へ
3	3	育児休業中に離職した ⇒問29へ

(2) 「希望」より遅く復帰した方

①母親	②父親	希望より遅く職場復帰した理由（当てはまる番号すべてに○）
1	1	希望する保育所に入れなかったため
2	2	自分や子ども等の体調が思わしくなかったため
3	3	配偶者や家族の希望があったため
4	4	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5	5	子どもをみってくれる人がいなかったため
6		その他（ ）
	6	その他（ ）

問28-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問28-5	宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
--------------	--

①母親	②父親	育児休業取得について（当てはまる番号1つに○）
1	1	1歳になるまで育児休業を取得したい
2	2	1歳になる前に復帰したい

12. 子育て全般について

問29	岡崎市における以下の項目について満足しています。「満足度」を5点満点で評価し、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。
------------	---

項目	満足している	まあ満足している	普通	やや不満である	不満である
①各種保育サービス	5	4	3	2	1
②妊娠・出産・育児期の健康診断	5	4	3	2	1
③身近で安心な小児医療サービス	5	4	3	2	1
④公園等、身近な子どもの遊び場	5	4	3	2	1
⑤企業・事業所等の子育て支援	5	4	3	2	1
⑥犯罪等が少ない、安心できる地域環境	5	4	3	2	1
⑦総合的にみた子育てのしやすさ	5	4	3	2	1

問30

子どもを安心して産み育てられる環境のために、市にどのような施策を期待しますか。次の中からあてはまる番号に5つまで○をつけてください。

1. 妊産婦や乳幼児の健康診査、保健指導等の母子保健体制の整備
2. 夜間や休日における小児科や医療体制の整備
3. 夜間保育、一時保育等の子どもを預けられる保育サービスの充実
4. 子育てに関する相談・情報・手続き等の窓口の一本化
5. 地域における子育てサークル等の自主活動への支援
6. 家事や育児への男女共同参加意識の啓発
7. 育児休暇制度の普及や労働時間短縮等、企業における子育て支援の充実
8. 子育てにかかる経済的な負担の援助
9. 子どもの成長や家族人数に見合った住環境の整備
10. 乳幼児連れでも講演会やイベントに参加しやすいように会場の保育機能の整備
11. ベビーベッドの設置やベビーカーを押して歩きやすい歩道等、施設や道路の整備
12. 児童虐待を防止するための体制の整備
13. いじめや非行防止等、子どもが健全に育つための対策の充実
14. 受験競争の緩和等ゆとりある教育の推進
15. 特にない
16. その他 ()

問31

最後に、子育て・保育環境の整備や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

(案)

ご協力、ありがとうございました。
切手を貼らずに同封の封筒に入れ、投函お願いいたします。